

日本女子大学児童学科教授

石井 光恵
いしい みつえ



こんな絵本を待っていた。と思ったのは、『としよかたライオン』を読んだ時でした。あれからも13年になります。図書館で、すこく自由でいいな！と思った絵本でした。何しろ、ある日突然、図書館にライオンがやってくるのです。どうして、ライオンがそんな気になったのかはわかりません。理由はなにも書いてないのですから。図書館員は大騒ぎです。当然です。でも、館長は、決まりを守るなら、ライオンだって図書館に来てよいのだと平然と言います。そう、図書館は誰にでも平等に開かれている場所なのだ、としよかたライオンは字が読

図書館で、すこく自由！

めません。でも、子どもたちと一緒に本を読んでもらえる図書館がたいそう気に入りました。もちろん事件が起これば騒動、これもまた泣かせる話ですが、興味があったら図書館で読んでみてください。図書館の存在意義について見識を持った大人がいて、本を楽しむ子どもたちがいて、面白い本がたくさんあって、いつでも自由に読んでよくて、それも無料です。でも、決まりはしっかり守るべき。こうした図書館の公共性、公平性、また面白いものを提供する宝庫であることを、子どもたちに感覚として知ってもらいたい、私は常々願っています。できれば、どの図書



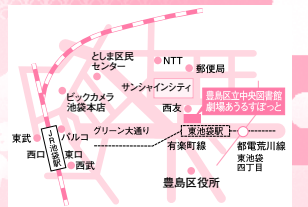
と しょ か ん こ う し ん と 書 館 通 信

トピックス

- 巻頭言 日本女子大学児童学科教授 石井光恵・・・1ページ
- こらこらコラム ほほ日の学校長／編集者 河野 通和・・・1ページ
- 図書館と私 JPC読書アドバイザー 児玉ひろ美・・・2ページ
- 生涯の一冊 株式会社フーマジヤパン所属 花岡伸和・・・2ページ
- この本カフェ・・・2ページ
- 古代オリエント博物館 研究員 津本英利・・・3ページ
- 映画のまち「としよ」 学芸員 伊藤暢直・・・3ページ
- 図書館イベント情報・図書館カレンダー・・・4ページ



発行 ●豊島区立中央図書館
東京都豊島区東池袋四一五二
ライズアリーナビル四階・五階 〒170-0844
電話 ●03-3983-7861
FAX ●03-3983-9904
ホームページ ●http://www.library.toshima.tokyo.jp/
発行日 ●令和2年4月



新航路【53】

豊島区立図書館のホームページをリニューアルしました

利用者の皆様には、大変ご不便をおかけしましたが、今年の年始休館日を延長し、無事に図書館システムを更新することができました。これまで以上に使いやすくなりました図書館ホームページをご紹介します。

豊島区は外国人人口割合が10.22%（23区中第2位）と高く、以前より、外国人の方に図書館をもっと利用していただきたいと考えていました。東京2020を迎えるにあたり、図書館ホームページに多言語（英語、中国語、韓国語）の翻訳機能を導入しました。また、バリアフリーの観点から、音声読み上げ機能も導入しました。こちらも、目のご不自由な方にご利用いただきたいと思えます。

さらに検索機能も格段に向上しました。例えば「芥川賞」と入力すると、所蔵する受賞作品が検索されるなど、関連

ワードからの検索が可能になり、ヒットがない場合でも「もしかして」検索も可能になりました。

利用者メニューの読書記録照会では、「読み終えた後に、ちょっとした感想を残しておきたい」という利用者のご要望に応え、「借りた図書資料にコメントや評価」を記入できるようになりました。

10代のためのYA (Young Adult) ページもリニューアルし、新規の「Pickup!」コーナーで、YA世代に向けたイベントや各館の特集展示など「担当からの推し！情報」を紹介しています。また、スマホやタブレット等の端末サイズに合わせて閲覧できるようになりましたので、ぜひ、図書館ホームページをご利用ください。

こらこら コラム

第12回

本屋さん、あつまる。

ほほ日の学校長／編集者 河野 通和

新型コロナウイルスの感染拡大で、イベントが軒並み中止・延期になる直前、2月22日〜24日の3日間、渋谷PARRCOの8Fで「本屋さん、あつまる。」という小さな「本のフェス」をやりました。私も「河野書店」というこの場限りのお店を出して、22冊の選書を並べました。3日間で4000人近くの方が来場し、各店の売上も好調でした。東京の中小の書店数軒と、「光文社古典新訳文庫」「NHK100分 de 名著」など特徴的な商品を持つ出版社の本屋さん、それに今回の目玉としては小野不由美さんのファンタジー小説にちなんだ「十二国記屋」というお店を構えました。「十二国記」のシリーズはまだ完結していませんが、昨秋、『白銀の墟 女の月』（全4巻、新潮文庫）という新作長篇が18年ぶりに刊行されるや、凄まじい勢いで売れはじめ、現在4巻合わせて250万部を突破！ 文庫本のシリーズ累計では1200万部を超えています。

お店では「十二国記」関連グッズを揃えて販売したのですが、おもしろかったのは、それが売れ切れたり品薄になった以降です。「話がしたくて来ました」とはつきり言う人もあられて、お店が一種、オフ会のような交流の場になったのです。物語の持つ底力を見せつけられたようで、たのしげに語り合うその様子は、傍で見ていても羨ましいくらいでした。

赤坂にあるひとり書店「双子のライオン堂」にも出店してもらったのですが、ここは書棚の写真を撮影して送ると、店主が「いつか必要になる本」をセレクトして送ってくれるというテイプの販売サービスを行っています。次に読んだらいい本を子どもに教えてくれる、昔ながらの本屋のオヤジさんと、図書館の司書を掛け算にしたような新機軸。小さな書店ならではの進取の意欲がみなぎっています。

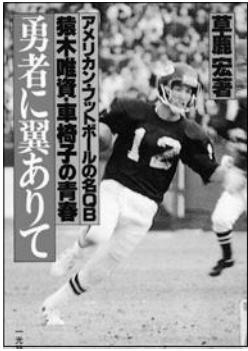
「本」で呼びかけると人が確実に集まってくる。この力を決して侮ることはできません。

日本女子大学児童学科教授。専門は児童文化領域及び絵本研究。国際子ども図書館の客員調査員や絵本学会の理事及び事務局局長を歴任。現在は教鞭をとる傍ら、絵本専門士養成講座の講師や審査部会の委員を務める。

※「としよかたライオン」ミシェル・ヌードセン／作、ケビン・ホークス／絵、福本友美子／訳、岩崎書店、2007年

生涯の一冊 (55)

～オリンピック・パラリンピアンが選ぶ1冊～



『勇者に翼ありて』アメリカン・フットボールの名QB猿木唯資・車椅子の青春
草鹿 宏 / 著
一光社 19800年

株式会社フーマジャパン所属
花岡 伸和(はなおか のぶかず)
1976年大阪府生まれ。17歳の時にバイク事故で脊髄を損傷し車いす生活に。事故から約1年半で車いすマラソンを始め、2004年アテネ、2012年ロンドンのパラリンピック2大会に出場、アテネ大会では6位、ロンドン大会では5位に入賞した。



世界への扉を

開いてくれた生き様

僕がこの本と出会ったのは、高校3年生でバイク事故により入院していた時です。高校では柔道部に所属していた僕に顧問の先生が「花岡これを読んでがんばれ」と贈ってくれたのです。この本の主人公、猿木唯資さんは、名門、関西学院大学アメフト部のエースデクォーターバックとして活躍されていた時、試合中の事故により頸椎を損傷、わずかに肩の筋肉が動かせ

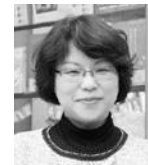
るだけの全身麻痺となりました。入院中、医師からの宣告により治癒の見込みがないことを知らされた猿木さんは絶望の淵に立ちますが、持前の「なにくそ魂」で前を向いて生き始めます。そして、リハビリの先に大学卒業と税理士になる目標を立て邁進します。身体能力の化身のようなアスリートだった猿木さんが、一瞬の出来事により全身の自由を失い、アメフトどころか生活もままならないような状況を受け入れるのは簡単ではなかったと思います。しかし、周囲の助けもあり「できなくなったこと」ではなく「できること」に目をむけ、自分で決めた目標に向かって今の自分でできることを全力で一つずつ積み上げていきます。病院のベッドの上でこの本を読んだ僕は、自分の現状と重ね合わせながらも、自分より重傷を負った人が、葛藤しながらもエネルギーにバワフルに将来を見据えて前進していく生き様がとてまかつこよく思えて、自分もこんな生き方をしたいと感じました。自分の可能性は自分で見つける、スモールチャレンジ・スモールステップで未来を切り開くことを教えてくれたこの本は、僕が世界へと羽ばたく扉を開けてくれた一冊です。



図書館と私 ⑫

子どもから学ぶ

～昔話は残酷ですか?～



JPIC 読書アドバイザー
児玉ひろ美 (こだま ひろみ)
【プロフィール】
公共図書館司書とJPIC読書アドバイザーのふたつの立場から子どもの読書推進活動を展開し、豊島区立中央図書館読み聞かせボランティア養成にも関わった。

オリンピック・パラリンピックまで3か月余り。世界的な祭典のある年は、さまざまな国や地域の昔話を子どもたちに手渡す絶好のチャンスです。昔話には、その国の文化や伝統、民族の誇りなどが凝縮されており、異文化を知るよいきっかけになります。積極的にその楽しさや豊かさを、子どもと楽しみたいものです。その一方、昔話の伝承が正しく為されていないのでは? という危機感もあります。2010年の絵本学会における筑波大学大学院の徳田克己教授らの発表 (http://www.ehongakkai.com/_src/sc2588/8Aw89EFnews40.pdf) では、我が国の昔話の伝承が危機的な状況にあることが報告され、司書として、その責任を感じずにはいられません。

日本の五大昔話は、室町末期から江戸初期にかけて成立した、代表的な五つの昔話、「桃太郎」「かちかち山」「猿蟹(さるかに)合戦」「舌切り雀(すずめ)」「花咲爺(はなさかじい)」

の総称で、江戸時代に赤本(絵本)として広まったそうです。そのうちのひとつである『かちかちやま』は、残念なことに、我が国の大切な昔話の一つでありながら近年、「残酷で恐ろしい」と言われ、大人が物語を子どもたちから遠ざけ、出会う機会が少なくなっているお話の一つになっています。このお話は、大切なあさまを殺したタヌキはウサギに懲らしめられるべくして、懲らしめられ、最後は土の船もろとも、川に沈んでしまいます。実際に子どもたちに絵本の読み聞かせをしていると、子どもたちはウサギとタヌキの言葉のやり取りを面白がり、物語の展開に興味を持って「それから、どうなの?」という表情で聞き入ります。子どもは無意識に、人と動物の暮らしが間近であったころの、素朴な昔話として受けとめているのでしょう。大人が残酷だと子どもから遠ざけてしまうシーンは、子どもの受け止め方がまったく違うということ、子どもから学んだ瞬間でした。



世の中、わからないことだらけ。だから我々は本を読む。SFやミステリーだけでなく、歴史ものやノンフィクションまで、人や社会の動きを追うのは面白い。たとえ謎が解けなくても、「なぜ?」と考えながら読むと行動や事件の筋が見えてくる。これが、読むことの醍醐味だ。

🎯 今回のテーマ 🎯

なぜ?

21 回目



書名『秩父事件—自由民権期の農民蜂起』
井上幸治 / 著 中公新書 1968年

2月、有志とともに豊島区の友好姉妹都市・秩父市を訪ねた。秩父事件という当地の悲しみの記憶を辿り、農民蜂起の現場となった棕神社100年記念碑の前に立った。当時処分を受けた暴徒らは100年後、自由民権運動の鑑として名譽を回復。秩父出身の著者は、埼玉、群馬、長野まで派生した事件の調査を精査し、貧しい養蚕業の地でなぜ自由民権運動が起きたのかを解き明かしている。明治17年の恐慌と農民への厳しい課税、困民党と自由党の関係から秩父事件の謎に迫った近代史ノンフィクション。 ⇒【沼田 篤(ぬまた あつし)】

書名『朗読者』
ベルンハルト・シュリンク / 著 松永美穂 / 訳 新潮社 2000年

「ねえ坊や、本を読んでよ」。逢瀬のたびにハンナは本を朗読することをミチャエルに求めた。甘くほろ苦い恋の記憶。ハンナは戦時中、強制収容所で看守をしていた。戦後、その罪で裁かれることに。しかし、彼女はなぜか一切抗弁せず、裁判長に問いかける。「私は皆と同じようにしただけ。あなただったらどうしましたか?」と。これは戦争という狂気の時代を生きた全ての人に投げかけた言葉だ。1960年代、ドイツは自ら戦争犯罪を裁く裁判を始めた。アウシュビッツ裁判と呼ばれ、強制収容所の看守等がホロコーストの罪を問われた。贖罪を背負う重く厳しい時代を背景に、ハンナの罪と孤独に寄り添う朗読者の愛が切ない。 ⇒【小湊 建侍(こみなと けんじ)】

書名『日本語を味わう名詩入門 15 石垣りん』
萩原昌好 / 編 あすなろ書房 2013年

「表札～自分の住むところには、自分で表札を出すにかぎる～石垣りん、それでよい。」
深い覚悟を行間から受け取る。わたしはわたしであり、わたし以外にない。人はピンチの時、だじろがずに凜として立ってられるか。どこかで迎合している自分の姿はないか。揺るがない詩人のこころの秘密は、やはりその言葉の中にある。精神の在り方に活を入りたい時、へこんでしまい元気をなくした時に、自身に深く問いかける本。夢持ち輝けるみなさんへ、おすすめの一冊です。 ⇒【清水 悦子(しみず えつこ)】

寄稿者はとしまコミュニティ大学の内、登録して学んでいる「マナビト生」です。マナビトゼミ担当の人類学者佐藤社広氏の監修のもと、毎回テーマに合わせて文学、児童書、科学や評論などの分野のお薦め本を1冊紹介しています。

古代オリエント博物館

(全4回)

第1回 古代オリエントと世界最古の図書館

公益財団法人 古代オリエント博物館

研究員 津本 英利

△オリエントとは

一昨年の2018年、サンシャインシティ内にある古代オリエント博物館は、開館40周年を迎えました。1978年10月のサンシャインシティの開業とともに開館してから40年以上経ったのですが、残念ながら地元の皆様には知られず、知名度は高いとはいえないと思います。古代オリエントという、一見浮世離れしているテーマを扱うことも関係するのでしょうか。では、そもそも当館が専門とする古代オリエントとは何でしょうか。

「オリエント」とは、古代のローマ帝国で使われていたラテン語で「東」を意味する言葉です。ローマから見て東、つまり現在の中近東(西アジア)を指しています。ローマ人たちは、自分たちよりもはるかに古い文明が東方にあったことをよく知っており、「光は東方から」という言葉を残しています。

古いどころか、古代オリエントは世界最初の文明が誕生した地です。紀元前3000年頃、今のイラク辺りで世界最初の都市、国家、文字、法律などが生まれました。地中海世界を制覇した誇り高いローマ人たちは、自分たちの文明はオリエントの模倣で始まったことを、よく理解していたようです。そのローマ帝国はキリスト教の広がりと同時期に衰亡してゆきますが、キリスト教やイスラーム教は、古代オリエントのもっとも偉大な遺産といえるでしょう。

△古代オリエント博物館の展示

もちろん、オリエント文明の影響は、西方に伝わったのみでなく、いわゆるシルクロードを通じて、東方にも伝わりました。日本人に一番なじみ深いものでいえば、仏教がそれにあたるといえるでしょう。奈良の正倉院には、イランで作られ、はるばる日本まで運ばれてきた御物(カラス碗など)がいくつかが保管されています。欧米の歴史系博物館に行けば、当たり前のように古代オリエントから歴史が始まっています。ギリシア・ローマ文明やキリスト教の影響を多大に受けた欧米人からすれば、当然のことでしょう。また上に述べたように、世界の歴史というものは繋がっていて、ユーラシア大陸の東端にある日本すら、様々なかたちで古代オリエント文明と繋がっています。

1970年代、日本経済が飛躍的に成長し、国際的に活躍する日本人が増えるにつれ、世界への関心が高まりました。そうした中、世界の歴史をひもとくうえで、必ず最初に語られるのが古代オリエントであるということが認識されました。そこで有志の学識者や財界人が中心となり、日本最初の古代オリエント専門の博物館として、古代オリエント博物館が当時建設中だったサンシャインシティ内に設置された訳です。



展示風景 4000年前の住居を表現

当館は決して大きい博物館ではないのですが、古代オリエントの歴史資料を各時代・地域に渡って満遍なく所蔵しており、展示を見ることが系統立てて古代オリエントの歴史、そして後世への影響を学べるよう

△世界最古の図書館

なっています。いわゆる「お宝」ではなく、当時の人びとの暮らしを感じさせる資料が中心であることも特徴です。

こちらは図書館通信なので、図書館の話題で最後は閉めたいのですが、さて、世界最古の図書館はどこにあったのでしょうか。答えはもちろん古代オリエントです。現在知られている限りでは、今から2650年ほど前、今のイラクにあったアッシリア帝国の王アッシュルバニパルが、自身の都ニネウェに設置した図書館が、世界最古の図書館とされています。アッシュルバニパルはアッシリア以前から伝えられてきたあらゆるジャンルの文書3万枚以上(当時はまだ紙がなかった)ので、粘土板や羊皮紙、パピルスに記されていました。自身の書庫に収蔵しました。

彼の死後まもなくアッシリア帝国は滅ぼされ、都も灰燼に帰しましたが、書庫内の粘土板は焼き固められて土中に残り、19世紀に英国人により発掘されました。それが解読された結果、一度は完全に忘れ去られていた、古代オリエントの豊かな文明が再発見されたのです。



楔形文字粘土板文書



筆者紹介 1970年岡山市生まれ。筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科単位取得退学。ドイツ留学

後、2009年より現職。専門は西アジア考古学。トルコ、シリア、イスラエルでの発掘調査に参加。

成り立ちから現在まで

伊藤 暢直

豊島区の映画文化はどのように生まれ、成長・変化し現在に至っているのか、令和二年一月二十五日と二月一日の中央図書館・地域研究ゼミナールで二日間にわたって解説した。

映画のまち としま

豊島区内の映画館の嚆矢は、大正5(1916)年に大塚の天祖神社前に建てられた「オヤマ館」だとされる。日本で初めての映画館「電気館」が浅草にできてから13年後のことである。その後、大正10年には巣鴨に「巣鴨館」が誕生し、翌年には池袋に「武蔵野館」と「平和館」が建ち、続いて大正12年には巣鴨に「巣鴨劇場」、長崎に「洛西館」が建てられ、大正年間にはほぼ、豊島区は、映画のまち、としての様相を呈しつつあった。

映画のまち、を構成させる要素は映画館ばかりではない。池袋駅から300メートルほどの位置(現在のサンシャイン通り、東池袋1-20-21付近)には、大正6年から7年にかけて映画製作会社である「小林商会」の池袋撮影所があった。また、現在の旧朝日中学校の敷地には戦前に娯楽映画を量産し、安価で上映して人気だった「大都映画」の単独撮影所があった。その場所は「天活」の撮影所として誕生し、「大都映画」が戦時再編により、昭和17(1942)年「大都」に統合されるまで使用された。

昭和17年頃の豊島区内の映画館は16を数えることができ、そのうち池袋駅周辺には8館があり、池袋が、映画のまちの中心となっていく。これには昭和14年に池袋駅前まで電線が延伸されたことが大きく影響していると考えられる。

これらの映画館は、椎名町の「目白松竹」を除いて、昭和20年3月10日の空襲によりすべてが焼失した。しかし、戦後の昭和21年には、「山手映画劇場」・「池袋日勝映画劇場」・「シネマ・ロサ」などが建ち、昭和23年には人坐坐が、31年には文芸坐がオープンした。その後映画館数は増加し、昭和32年には、区内に39館(うち池袋周辺は29館)が営業するまでになった。しかし、その後のテレビの普及や娯楽の多様化により、平成10年頃には10館前後にまでその数を減らした。

平成20年代から、池袋の映画館は復活の兆しを見せている。シネマコンプレックスという新しい上映形態の普及などもあり、令和2年には、池袋周辺のスクリーン数が33に増え、最盛期の昭和32年を上回ることになり、再び、映画のまちとしての復活が期待される。



伊藤講師(左) 地域研究ゼミナールにて

著者紹介 豊島区教育総務課文化財係(学芸官)。郷土資料館に勤務していた1994年当時特別展「テレビがなかったころ」落語と映画は娯楽の王様だった」を担当。

図書館イベント情報



- 中央図書館 3983-7861
- 池袋図書館 3985-7981
- 駒込図書館 3940-5751
- 目白図書館 3950-7121
- 巣鴨図書館 3910-3608
- 千早図書館 3955-8361
- 上池袋図書館 3940-1779
- 雑司が谷図書貸出コーナー 3590-1335

★…児童・あかちゃん向け ●…一般向け

毎週、本の読み聞かせなどのイベントを行っています。遊びに来てくださいね。

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント		
	幼児・小学生	あかちゃん	4月	5月	6月
中央図書館 児童コーナー (※印は会議室)	日曜日 14:00	最終日曜日 10:30 11:30	おはなし会は中止します	★3日・おはなしこうさく会 14:00~14:30 ★31日・おはなし会(池袋親子読書会) 14:00~14:30	
駒込図書館 こまちゃんのへや (※印は 地域文化創造館)	土曜日 14:30	第1水曜日 11:00※	おはなし会は中止します	★16日・生物多様性スペシャル 14:30~15:30	★14日・親子ではじめてのプログラミング※ 14:00~16:00
巣鴨図書館 地下会議室	水曜日 15:30	第3火曜日 11:00	おはなし会は中止します	★27日・KAMISHIBAIの日 15:30~16:00	★24日・こうさく会 15:30~16:00
上池袋図書館 おはなしの部屋 (※印は地下ホール)	水曜日 15:00	最終水曜日 11:00※	おはなし会は中止します	●4日・GWスペシャル映画会※ 10:00~11:10 ★10日・生物多様性スペシャル※ 11:00~12:00 ★23日・親子で楽しむ映画会※ 11:00~11:30	★6日・ぬいぐるみおとまり会※ 15:00~15:30 ●14日・バリアフリー映画会※ 13:30~16:00 ★28日・親子で楽しむ映画会※ 11:00~11:30
池袋図書館 ワークルーム (※印は区民集会室)	土曜日 14:30	第1水曜日 11:00	おはなし会は中止します	●13日・読みきかせ講座※ 10:30~12:00 ●18日・俳句会※ 10:00~12:00 ★23日・ようこそ図書館へ 14:30~15:30 ★30日・よんでみよう!やってみよう!かがくのほん!※ 14:30~15:30	●7日・バリアフリー映画会※ 13:30~15:30 ●14日・イクメン読みきかせ講座※ 14:00~15:00 ●15日・ハンドメイド倶楽部※ 10:00~12:00 ★27日・ぬいぐるみおとまり会 14:30~15:30
目白図書館 地下区民集会室	水曜日 15:00	第1水曜日 14:00	おはなし会は中止します	★16日・おりがみこうさく会 14:00~15:30	★6日・かがみこうさく会 14:00~15:30 ●21日・大人の調べる学習講座 14:00~15:30
千早図書館 視聴覚室	水曜日 (第3水曜日除く) 15:30	水曜日 10:30	おはなし会は中止します	★17日・おたのしみ会 15:30~16:00	★21日・おたのしみ会 15:30~16:00

新型コロナウイルス感染症防止対策のため4月のおはなし会は全館で中止します。また、日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

文学講座(前期・全4回)

～読んで観る!映像・舞台原作の世界～

講師 後藤隆基氏
(早稲田大学演劇博物館助教)

日時 6月13日(土)、7月11日(土)、
9月12日(土)、10月10日(土)
午前10時～正午

会場 中央図書館5階会議室

申込 電話・FAX・メール・直接来館

定員 30名(5月1日より申込受付)先着順

問合せ 参加無料、課題本は各自用意してください。



- 課題本**
- 第1回…『舟を編む』(三浦しん著)
 - 第2回…『吾輩は猫である』(夏目漱石著)
 - 第3回…『日の名残り』(カズオ・イシグロ著)
 - 第4回…『天守物語』(泉鏡花著)

●特別講演会・文学講座・古典文学講座について●

【問い合わせ】中央図書館企画調整グループ
電話:3983-7861 FAX:3983-9904
メール:A0027900@city.toshima.lg.jp

特別講演会

テーマ「オリンピックと文学者」

東京2020大会の開催を目前に控え、より大会を楽しむために鎌倉文学館館長富岡幸一郎氏の特別講演会を開催します。近代オリンピックはスポーツの祭典ですが、様々なところで文学とのつながりがあります。日本の近代文学とスポーツ、オリンピックとの意外な相愛ぶりをお話いただきます。



日時 5月30日(土) 午後2時～3時30分

会場 あうるすぽっと 会議室B

申込方法 電話、FAX、メール、直接来館

受付開始 4月11日(土) 午前10時から

定員 80名(先着順)

その他 参加費無料、手話通訳あり

申込先 中央図書館企画調整グループ

こちらに掲載した講座・講演会・展示の情報は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため変更となる場合があります。



古典文学講座(全8回)

「源氏物語と仏教」

講師 大場朗氏(大正大学名誉教授)

日時 原則第3木曜日
午前9時30分～11時30分
(初回5月21日(木))

会場 あうるすぽっと会議室B2ほか

申込 往復はがき

定員 30名
(4月11日より申込受付) 抽選制

その他 受講料として年間500円(初回受講時にいただきます)



第8回 泡坂妻夫展

豊島区に長くお住まいになっていた直木賞作家・泡坂妻夫さん(1933.5.9～2009.2.3)の特集展示を行っています。東京・神田で「松葉屋」の屋号を持つ紋章上絵師の家に生まれ、会社勤めを経て家業を継ぎ、絵師となりました。また奇術愛好家兼奇術師としても有名でした。

今回は、「奇術探偵曾我佳城全集」が創元推理文庫から発行されたのを機に「奇術・マジック」をテーマに展示をしています。

期間 2月29日(土)～5月17日(日)

会場 中央図書館5階特別展示コーナー



展示の様子(草稿ノート)

特別整理期間のお知らせ

下記の日程で休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- 巣鴨図書館…5月12日(火)～15日(金)
- 中央図書館…5月18日(月)～24日(日)
- 雑司が谷図書貸出コーナー…5月18日(月)～24日(日)
- 池袋図書館…6月1日(月)～3日(水)
- 千早図書館…6月9日(火)～12日(金)
- 目白図書館…6月15日(月)～16日(火)
- 上池袋図書館…6月22日(月)～23日(火)
- 駒込図書館…6月29日(月)～30日(火)

開館時間	中央図書館	駒込・上池袋・千早図書館	巣鴨・池袋・目白図書館	雑司が谷図書貸出コーナー
平日 午前10時～午後10時 土日祝 午前10時～午後6時	●駒込・上池袋● 平日 午前9時～午後8時 土日祝 午前9時～午後6時 ●千早● 平日 午前9時～午後7時 土日祝 午前9時～午後6時 ※駒込図書館は、平日は、午前8時から資料の返却と、予約資料の受取りができます。	●巣鴨● 平日 午前9時～午後7時 土日祝 午前9時～午後6時 ●池袋・目白● 平日 午前9時～午後8時 土日祝 午前9時～午後6時	平日 午前10時～午後7時 土日祝 午前10時～午後5時	
○は土日祝の開館時間 ■は休館日	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
4月	⑤ 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	⑤ 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	⑤ 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	⑤ 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
5月	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
6月	⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

●新型コロナウイルス感染症で先の見えない不安もあると思います。こんなときこそ本を! 本のご予約はweb かお電話で承っています。6年間お世話になりました。(符)

●今年度も特別講演会や各種講座の開催を予定しています。講師のみならず魅力あふれる方ばかりです。ぜひ、受講のお申し込みをお待ちしています。(小)